

2026年6月初旬 配本予定

Salut, Mr Bruno Taut

定価 5000 円 + 税 | ISBN978-4-9911475-5-5 | C1052

A5 変型 191 x 144mm | 64 頁 | 写真 40 点収録 | 4C | 三つ目綴じ

写真 飯沼珠実 | 文章 Thibaut de Ruyter、飯沼珠実 | 編 飯沼珠実 | デザイン 芝野健太、飯沼珠実



飯沼珠実写真集『Salut, Mr Bruno Taut』は、ブルーノ・タウト設計による「ジードルング (Siedlung / 集合住宅)」を被写体に、2010 年から 2014 年にドイツ・ベルリンおよびマクデブルクで撮影された写真 40 点を収録します。

2008 年にベルリンへ移住した飯沼は、市内の外れに点在する建物を訪ね、写真を撮りためていきました。それは小学生のころ、夏休みに電車に乗ってスタンプラリーに夢中になった記憶と重なります。この撮影を通して、建築をひとつのメディアとして、歴史のナラティブを写真で掬いとることの可能性について考えるようになりました。

撮影開始の当初は、スタジオポートレートで用いられることの多いカメラ「Mamiya RZ67」を使用していました。これは、飯沼にとって建物が人物に等しい存在であるという感覚によるものです。しかし、氷点下のベルリンではフィルムの結露による不良や現像トラブルが重なり、次第にデジタルへと移行していきました。

本書の展示会やトークイベントなどのお問い合わせは、版元・建築の建築までご連絡をお願いします (iii@house-of-architecture.org)

飯沼珠実 | Tamami linuma

東京都世田谷区生まれ。「建築の建築」をテーマに、人々の記憶の集積としての建築物、建築物の住処としての都市や風景を被写体として写真撮影に取り組む。2008 年から一年間、ライブツィヒ視覚芸術アカデミーに留学、2013 年までライブツィヒに在住 (2010 年度ポーラ美術振興財団在外研修員)。2014 年から一年間、シテ・アンテルナショナル・デ・ザール・パリに滞在。2018 年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。2020 年、版元「建築の建築」を設立。現在は東京を拠点に活動。

流れた時間と記憶、時代を超えた関係性、東京とベルリンの距離について思考を重ねるなかで、その「つながり」の象徴として「糸」に着目し、本書の特徴的な製本へと至っています。

本書は、あわせて 2 本のテキスト、飯沼珠実による「親愛なるブルーノ・タウト様」と、批評家ティボー・ドゥ・ルイテールによる書き下ろし「ブルーノ・タウトの色彩と飯沼珠実の眼差し」を収録します。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX 03-3721-1922

電話 03-6715-6121

メール info@tsubamebook.com

ウェブサイト tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	発行	建築の建築		返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
	ご注文数	<h1>Salut, Mr Bruno Taut</h1> <p>ISBN978-4-9911475-5-5 C1052 定価 5000 円 + 税</p>		
ご担当	様			